

# うるおい



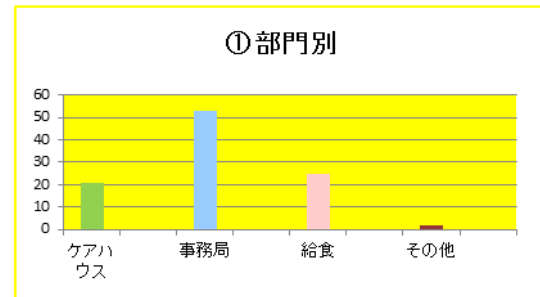
**第258号**  
 編集・発行 ケアハウス 清水苑  
 福井県福井市大森町第7号1番地  
 TEL (0776) 98 - 5790  
 FAX (0776) 98 - 5780  
<http://www.shimizu-en.info>  
 E-mail : [info@shimizu-en.info](mailto:info@shimizu-en.info)

題字は職員 広部です

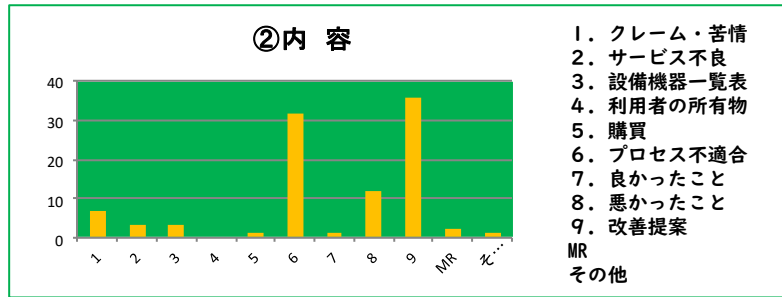
## R3. スタッフの声 結果報告

ISO9001から1週間スパンで実行できる改善案をGSスタッフが定期的に行っています。どのような視点に着目しているのか、それは改善でき実行継続されているのか、令和3年度の集計結果をご報告いたします。

期間:令和3年4月1日～令和4年3月31日



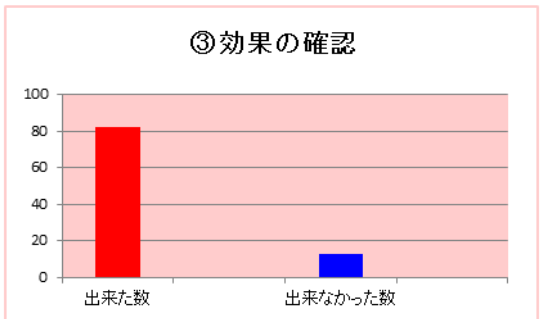
◆部門別に見ると圧倒的に事務局が多いです。とは言えケアハウス部門と共通する部分もあります。病院受診関係、服薬関係、健康、入浴、記録、カンファ、設備など主に入居者の皆さんの生活にかかわる事が提案されていました。全体的に内容は薄いです。



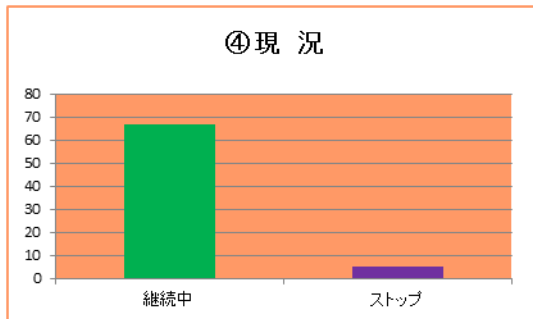
- クレーム・苦情
  - サービス不良
  - 設備機器一覧表
  - 利用者の所有物
  - 購買
  - プロセス不適合
  - 良かったこと
  - 悪かったこと
  - 改善提案
- MR  
その他



◆①の各部門で上がった内容を上記1から9に振り分けてみると、9改善提案、6プロセス不適合が多かったです。これは、普段職員が業務をしている中で感じたことであり、何気ないいつもの環境の中で、「もっとこうしたら良いのではないか。」「なにか分かりづらいな。」などと思った事をあげています。入居者の皆さんが住みやすい環境となるよう、大小関係なく「気づき」を大事にしています。




◆②で上がった内容に関しての提案を多職種で意見を出し合います。そして実行するのですが、80%以上の効果が出ていることが分かりました。出来なかった場合、それは何故か原因を報告します。



◆③で実行出来た件に関して現在も継続して行われているのが67%でした。せっかく良い提案だったのに継続されていない原因は何なのか。ここに関しては、集計するまで分かりませんでした。

◆この結果だけ見ると、こんなに改善することあるの?と思うかもしれませんが、普通に生活していれば特に改善すべきことはありません。ただ、先月号で掲載しました入居者分布の通り、平均年齢は年々高くなっています。それに伴い介護度もあがります。また年齢が若い方でも色々な病気を抱えている方が多いです。これらを踏まえ、皆さんが生活しやすい方向への改善提案をしています。



### ③効果の確認から実行出来て今も継続していて良かった提案の事例

#### 【事務局】鍵の整理

病院受診やデイサービス、買い物など外出をされる時に事務所に鍵を預けて行かれる方がおられます。置き場所は決まっているのですが、1日の中で外出される方が多いときは10本以上となり、そこに外泊している方の分もありますので、戻られたときに名前を探して渡すのですが、間違ってしまうリスクがあります。そこで、定位置は変えず管理の仕方を変える提案をしました。外出者の鍵は階ごとに分ける。外泊者、その他の鍵も別に分ける。結果、なんでもっと早くしなかったのだろう。と、簡単な事なのですが今更になってやって良かったと思ったひとつです。



#### 【ケアハウス】ベランダの点検

年に2回エアコン掃除に入るときにベランダの点検を一緒に実施しました。個人の領域ですが制度ヘルパーの殆どはベランダ掃除は出来ないと言いつつ外はしません。こちらでチェックすることにより、避難ハッチスペースの確認、汚れ、排水確認などが把握でき、かつ衛生的になりやって良かったです。

### ③効果の確認からなぜ出来なかったのかその原因は何なのか。

#### 【給食事業部】入居者の食事項の更新

医師の診断ではなく、本人の好き嫌いによるメニューの付ける付けない、例えば卵類は外してほしい。ナスは食べれるけれど漬物にすると食べれない。フルーツは好きだけれどパインはいらぬ...など。どこまで対応するのか決めごとをしているが、新しい情報を更新していなかったため、入居者の皆さんも厨房スタッフも混乱してしまう。これは業務が追い付いていないため更新できなかったのが原因でした。定期的に更新できるように業務の手順を見直す。



#### ④現況からストップしている理由は何なのか。

- 業務多忙で出来なかった
  - 忘れてしまった
  - コロナ過で中止していた
- 継続していけるように、忘れないように業務に入れる。結果を定期敵に確認する。



# シリーズ 第161回 皆様への問いかけ

## 施設長の呟き #150

6月9日覚永寺さまにご法話をお願いしました。ご住職もお元気で2年ぶりのご法話になりました。入居者の方も楽しみにしておられました。法話から、どんな人でも、どんな状況に会っても決して見捨てない、積み上げたすべての力はわたしの名まえに満たされるでしょう。また「あたりまえ」と思っていたことの有難さすべての命がおかげさまである、“あたりまえ”の生活をあたりまえにしてきたことが崩れてしまう恐ろしさ、世界中の誰よりも「あたりまえ」であったはずではないでしょうか。毎日テレビから流れるウクライナ国は他人ごとではない、それを考えると「あたりまえ」の生活をしていた我々に問いかけたいですね。(K.M)

参議院選挙が始まりました。福井県から、全国比例区から、政党は別として日本の国を支えられる国会議員になって欲しいですね。我々も応援しています。

記事 指導員

# 令和3年度各事業報告

## 令和3年度 清水苑事業報告

	標題	報告	課題
①	スタッフ雇用	雇用...雇用に至ったがまだ不足あり 育成...各ミーティング 研修利用	雇用...外国人の雇用受入について勉強する。 育成...各ミーティング等を活用して引き続き育成に努める。
②	感染症対策	感染者は出ませんでした	感染症に対して世間の意識はうすい。施設として引き続き対策を徹底して、職員や利用者が感染しないよう取り組む。
③	良食	食メニュー検討会の取り組み 給食日誌の活用 献立アルバムの活用	残食者に対してリサーチを行い、残食が減るように取り組む。(調理工夫や献立工夫)。
④	地域共生活動	地域配食を通じ地域健康に努めた テイクアウト(お惣菜)の利用者も増えた	広報活動を通じ地域に知ってもらい取り組み。 提供数に対して人員の確保と場所の確保。
⑤	災害・防犯対策	うるおいトランク整備を行う 災害訓練の実施	避難訓練の参加者が少ないので入居者理解を得る。 備蓄を使用した訓練を取り入れる。
⑥	うるおいブランド	周知活動が結果に繋がらなかった	広報活動を定期的に行い、活動(訪問)も拡げる。 体験ルームの利用率を上げる事と体験ルームの整備。
⑦	安全報告書	個別ケア対応 実践に努めた	居室衛生(汚れている居室)についての入居者理解を得る。
⑧	老朽化対策	厨房内床の補正着手 社用車(配食車)の整備がすすまなかった	老朽化対策 エレベーターリニューアル。 社用車の整備(特に配食車)。
⑨	行事推進ケアシステム	年間行事計画通りに実施が出来なかった 新しく取り入れた行事等が定期実施に繋がる	出来る行事を利用者満足を目指して取り組む事。 年間行事計画通り運営するように取り組む事。
⑩	避難階段扉の自動施錠システム	実行には至らなかった	5年先や10年先の目標として捉える。

## 令和3年度 地域配食事業報告

	標題	報告	課題		標題	報告	課題
①	スタッフ雇用 スタッフ育成	雇用...雇用に至ったがまだ不足あり 育成...各ミーティング 研修利用	雇用...外国人の雇用受入について勉強する。 育成...各ミーティング等を活用して引き続き育成に努める。	⑤	個別需要対応	要望食への対応に努めた 地域拡大には至らなかった	キッチンミーティング等にて職員間のコミュニケーションに努める。
②	広報活動	近隣への周知活動を定期的に実施した	活動範囲を広げて取り組む。 定期的に活動出来るよう取り組む。	⑥	災害対策	災害時のシュミレーション不足	備蓄の入れ替えの時に利用訓練を行うよう取り組む。
③	新プランの献立	テイクアウトの利用者増	広報活動を通じて利用者の増加に努める。 増加に伴う人員の確保や場所の確保。	⑦	衛生管理	厨房床の補正は4年度4月に終了	食堂内の床の掃除や補正を業者に依頼する段取りと調整。
④	地域健康活動	利用者満足のリサーチが進まなかった	配食やお惣菜を利用されている方のリサーチを行う。 残食チェックを行う。	⑧	安全報告書	配食車の整備 安全運転に努めた	10月の車検に向けて配食車の入れ替えを検討する。